

平成21年度  
環境活動レポート

(対象期間：平成21年12月～平成22年3月)



作成日：平成22年7月15日

発行日：平成22年9月6日



株式会社ヤマゼン

## 【目次】

1. 事業概要 .....	1
1) 事業者及び代表者	
2) 所在地	
3) 環境責任者及びエコアクション21事務局の連絡先	
4) 事業内容	
5) 事業規模	
6) 処理フロー	
7) 処理料金	
8) 施設概要	
9) 許可内容	
10) 環境関連資格保有者	
2. 環境方針 .....	10
3. エコアクション21組織図 .....	11
4. 環境への負荷の自己チェック .....	12
5. 環境目標とその実績 .....	13
6. 環境関連法規等の遵守状況 .....	16
7. その他活動状況 .....	16

## 1. 事業概要

### 1) 事業者及び代表者

株式会社ヤマゼン

代表取締役 奥田貴光

### 2) 対象範囲及び所在地

本社

〒518-1155

三重県伊賀市治田字シデノ木 2441 番地の 1

TEL : 0595 (20) 2131 FAX : 0595 (20) 9722

石川処分場

〒925-0151

石川県羽咋郡志賀町梨谷小山ホの 58 番地

TEL : 0767 (38) 8023 FAX : 0767 (38) 8024



### 3) 環境管理責任者及びエアアクション 21 事務局の連絡先

(1) 環境管理責任者 岡崎 祐一 (センター長)

(2) エアアクション 21 事務局 山本 剛

(3) 連絡先 TEL : 0595 (20) 2211 FAX : 0595 (20) 2218

### 4) 事業内容

一般廃棄物・産業廃棄物の最終処分

一般廃棄物の中間処理 [圧縮・破碎・選別・RPF (固形燃料)]

産業廃棄物の中間処理 [混練造粒・圧縮・破碎・選別・RPF (固形燃料)]

産業廃棄物の収集運搬業

環境計量証明事業

### 5) 事業規模

(1) 創立 昭和 47 年 12 月

(2) 資本金 9,000 万円

(3) 事業推移

項目		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
売上高(百万円)		3,659	3,420	2,680
従業員(人)		40	39	32
上野	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	67,182	67,182	67,182
	埋立残容量 (m <sup>3</sup> )	55,347	46,458	37,628

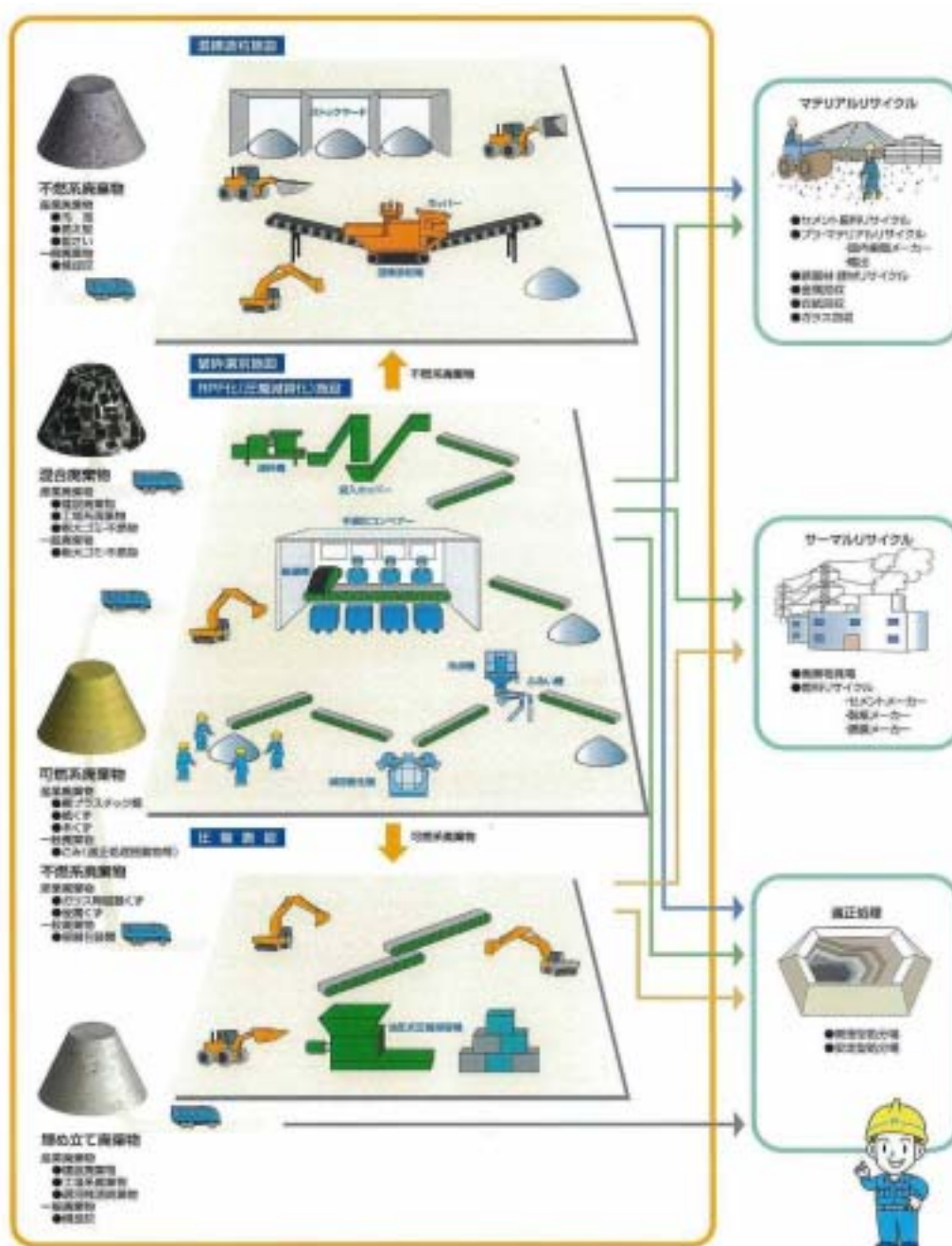
石川	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	35,424	35,424	35,424
	埋立残容量 (m <sup>3</sup> )	15,635	207,725	188,886

※H20 嵩上げにより 217,489m<sup>3</sup> 追加

(4) 処理実績

項目		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
上野	処理実績(委託を含む)	60,348 t	69,433 t	55,827 t
石川	処理実績	23,275m <sup>3</sup>	32,754m <sup>3</sup>	39,439m <sup>3</sup>

6) 処理フロー



## 7) 処理料金

詳細については、ヤマゼン営業部までご相談ください。

営業部西エリアG（三重県伊賀市） TEL 0595(39)1067


営業部東エリアG（愛知県名古屋市） TEL 052(702)4230

※ 無料にて御見積もりいたします。

## 8) 施設概要

### (1) 処分業


#### ① 管理型最終処分場

設置場所	三重県伊賀市治田字シデノ木 2441 番地の 1
設置年月日	昭和 57 年 1 月 18 日
許可品目	燃え殻・汚泥・廃プラスチック類(石綿含有産廃含む)・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残渣・ゴムくず・金属くず・ガラスくず等(石綿含有産廃含む)・鋳さい・がれき類(石綿含有産廃含む)・ばいじん・令 13 号・特定有害廃石綿等
埋立面積	67,182m <sup>2</sup>
埋立容量	1,786,481m <sup>3</sup>
施設の概要	 <p>管理型処分場であり、遮水工・集水施設及び高度な真空蒸発を装備した水処理施設を完備し、公共の水域や地下水を汚染しない構造となっています。また、臭気対策としてスクラバーや埋立処分場内にも当社独自の自己燃焼式脱臭装置を設置しております。</p>


### ②混練造粒施設

設置場所	三重県伊賀市治田字シデノ木 2441 番地の 9
設置年月日	平成 13 年 6 月 26 日
許可品目	汚泥・燃え殻・鉍さい
処理能力	640 t / 日 (8h)
処理方式	混練造粒機 (密閉式二軸パドルミキサー)
施設の概要	 <p>廃棄物分析結果をもとに、品質に見合った割合で廃棄物に固化剤を添加し成分調整を行ない、改質処理によるコンクリート 2 次製品等の原材料へのリサイクルを目的とした施設です。また、飛散防止・安定化処理といった埋立ての前処理についても行っています。</p>

### ③圧縮施設

設置場所	三重県伊賀市治田字シデノ木 2441 番地の 5
設置年月日	平成 9 年 3 月 5 日
許可品目	廃プラスチック類(石綿含有産廃除く)・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず等(石綿含有産廃除く)
処理能力	1,224m <sup>3</sup> /日 (8h)
処理方式	油圧式圧縮減容機
施設の概要	 <p>廃棄物の圧縮減容することにより、飛散防止や処分場の延命化を図ると共に、運搬時の費用削減に努めます。そうすることにより費用的に問題であった廃棄物のリサイクルを促進します。</p>



④破砕施設

設置場所	三重県伊賀市治田字シデノ木 2441 番地の 5 、2441 番地の 9
設置年月日	平成 13 年 6 月 26 日
許可品目	廃プラスチック類(石綿含有産廃除く)
処理能力	4.7t/日 (8h)
処理方式	破砕機
施設の概要	 <p>リサイクルが可能な廃棄物について目的や条件に合わせた性情に、またリサイクルが難しい廃棄物についても、減容化や埋立て基準を満たす為に破砕処理を行ないます。</p>

⑤選別施設

設置場所	三重県伊賀市治田字シデノ木 2441 番地の 5
設置年月日	平成 15 年 3 月 6 日
許可品目	木くず・紙くず・金属くず・廃プラスチック類・ガラスくず等
処理能力	手選別 600m <sup>3</sup> /日
処理方式	磁力選別機付手選別ライン
施設の概要	 <p>混合廃棄物を磁力選別・手選別によって分別し、資源物の回収と不適物の除去を行ないます。分別された廃棄物についてはそれぞれに合わせたリサイクル及び適正処理を行ないます。</p>

⑥RPF 化施設

設置場所	三重県伊賀市治田字シデノ木 2441 番地の 5
設置年月日	平成 16 年 7 月 23 日
許可品目	廃プラスチック類(石綿含有産廃除く)・紙くず
処理能力	10.3t/日(12h) - 直径 10mm 19.7t/日(12h) - 直径 30mm
処理方式	圧縮減容機
施設の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>10mmRPF</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>30mmRPF</p> </div> </div> <p>選別施設等で分別された対象物は破碎機後、減容固化機へ供給されます。減容固化機では回転時の摩擦熱により RPF (固形燃料) を製造します。製品は石炭等の化石燃料の代替材として製鋼所や製紙メーカーで各種昇温材・還元材やボイラー燃料などに使用されます。</p>

⑦安定型最終処分場

設置場所	石川県羽咋郡志賀町梨谷小山ホ 58 番地
設置年月日	平成 11 年 2 月 2 日
許可品目	廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・がれき類
埋立面積	35,424m <sup>2</sup>
埋立容量	528,445m <sup>3</sup>
施設の概要	<div style="text-align: center;">  </div> <p>性状が安定している 5 品目が対象となる安定型最終処分場で、公共水域及び地下水を汚染する恐れのある浸出水や埋立てガス・悪臭を発生しません。</p>

(2)収集運搬業

①収集運搬車両

車両形式	台数	最大積載量(kg)	環境保全対策
10t コンテナ車	1	10,200	シート掛け

②許可品目

許可品目/業の種類		収集運搬業					
		三重県	奈良県	滋賀県	愛知県	奈良市	大阪府
産業 廃 棄 物	燃え殻	●	●	●	●		●
	汚泥	●	●	●	●	●	●
	廃油	●				●	
	廃酸	●					
	廃アルカリ	●					
	廃プラスチック類	●	●	●	●	●	●
	紙くず	●	●		●	●	●
	木くず	●	●		●	●	●
	繊維くず	●	●	●		●	●
	動植物性残渣	●			●	●	
	ゴムくず	●	●		●	●	●
	金属くず	●	●	●	●	●	●
	ガラスくず		●			●	
	※ガラスくず等	●		●	●		●
	鋳さい	●	●	●	●	●	●
	がれき類	●					●
	ばいじん	●		●	●		●
工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物		●	●		●		
種類合計	16 種類	11 種類	9 種類	11 種類	12 種類	12 種類	

※ 三重県・滋賀県・愛知県、大阪府のガラスくず等とは「ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず」をいう

9) 許可内容

管轄	許可名	許可の種類・事業の範囲	有効年月日	許可番号
三重県	産業廃棄物処分業	最終処分（埋立） 中間処理（圧縮・混練造粒・破碎・RPF化）	H26.3.7	第02448004947号
	産業廃棄物処理施設	産業廃棄物最終処分場	—	環境第08-20-1号
	一般廃棄物処理施設	一般廃棄物最終処分場	—	環境第08-44-1号
		ごみ処理施設（選別施設）	—	賀生第1095-17号
		ごみ処理施設（圧縮施設）	—	賀生第1095-19号
	混練造粒施設	—	賀生第1095-18号	
	特別管理産業廃棄物処分業	最終処分（埋立）	H25.6.30	第02488004947号
産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類他16種類	H26.3.7	第02408004947号	
石川県	産業廃棄物処分業	最終処分（安定型埋立）	H26.2.1	第01738004947号
	産業廃棄物処理施設	産業廃棄物安定型最終処分場	—	第019-152号
奈良県	産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類他11種類	H26.8.9	第02900004947号
滋賀県	産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類他9種類	H26.3.14	第02501004947号
愛知県	産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類他11種類	H27.8.22	第02300004947号
伊賀市	一般廃棄物処理業	一般廃棄物の圧縮、混練造粒、破碎、 RPF化を行う中間処理及び最終処理	H24.3.31	伊 第2212号
奈良市	産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類他12種類	H25.1.28	第10202004947号
大阪府	産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類他12種類	H24.12.11	2700004947

10) 環境関連資格保持者

資格名	人数
環境計量士	1
危険物取扱者（甲種）	3
危険物取扱者（乙種全類）	1
危険物取扱者（乙種4類）	5
危険物取扱者（丙種）	1
公害防止管理者(水質第1種)	2
ごみ処理施設技術管理者	1
最終処分場技術管理士	1
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1
産業廃棄物最終処分場技術管理者	1
一般廃棄物最終処分場技術管理者	1
主任計量者	5
第1種衛生管理者	3
合計（延べ人数）	26

## 2. 環境方針

### 〔環境理念〕

当社は、産業廃棄物の処理を中心とした環境に携わる事業者として、資源循環型社会および低炭素社会の形成に向けて、3Rの推進と二酸化炭素等の環境負荷物質の低減を社会的責務と捉え、環境マネジメントシステムを導入し継続することにより、積極的に環境保全活動に取り組み、地域の生活環境に配慮した安全で安心なコミュニティづくりに参画します。

### 〔行動指針〕

1. 環境関連法規ならびに地域の条例や協定等を遵守します。
2. 次の事項を重点施策として取り組み、継続的な改善を図ります。
  - ① 二酸化炭素排出量の低減
  - ② 水の使用量低減と排水に対する細心の注意
  - ③ 廃棄物の分別と排出量の低減、受託した廃棄物の再資源化
3. 環境に関する教育・啓発を継続的に行い、環境保全に対する意識を高めます。
4. 周辺住民の生活環境に配慮した環境保全活動に参画し、社会貢献活動を推進します。
5. 環境方針を全従業員に周知・徹底します。
6. 環境への取組みを活動レポートとして社内外に公表します。

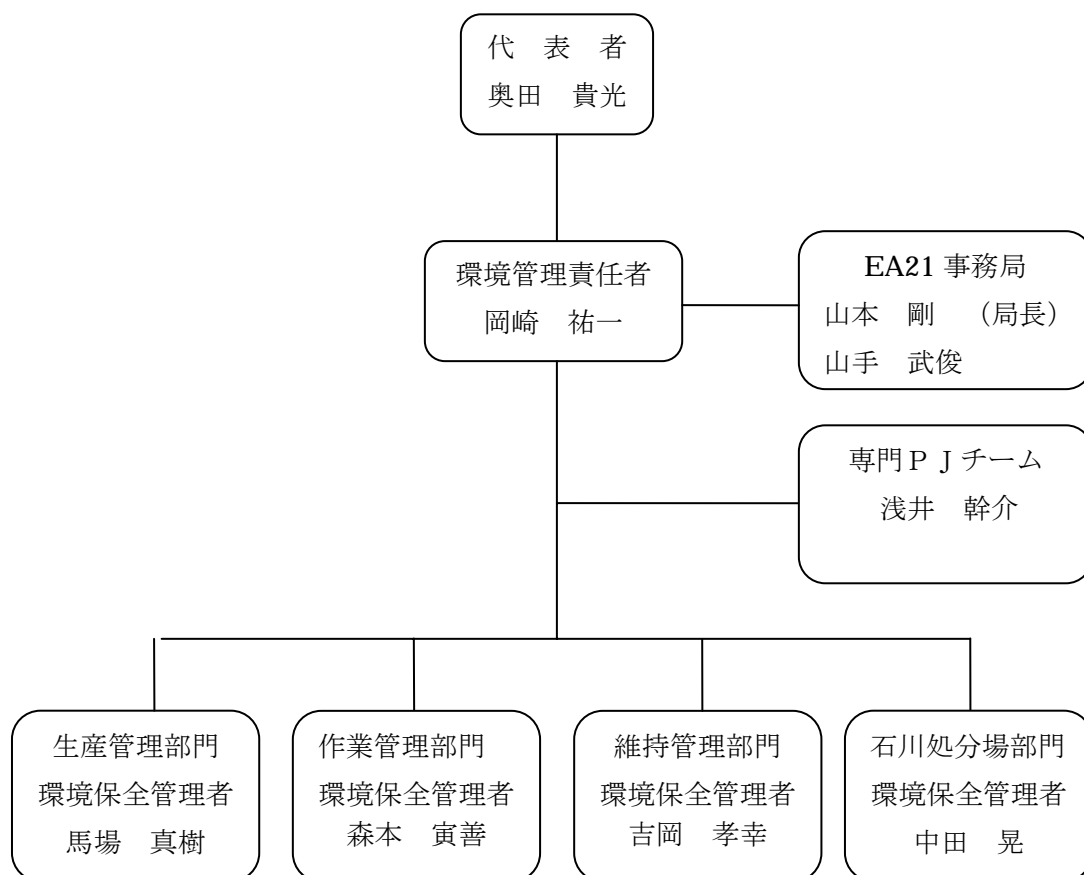
制定日：平成21年12月1日

株式会社 ヤマゼン  
代表取締役 奥田 貴光

3. エコアクション 21 組織図

平成 22 年 6 月 1 日現在

合計 32 名



職名	役割
代表者	<input type="checkbox"/> 環境方針を策定する。 <input type="checkbox"/> 環境管理責任者及びその他の責任者を任命する。 <input type="checkbox"/> 資源（人・もの・金）を用意する。 <input type="checkbox"/> EA21 の総合評価と方針の見直しを行なう。
環境管理責任者	<input type="checkbox"/> EA21 の構築に向けて、環境保全管理者、EA21 事務局を指揮し、EA21 に係るすべての事項を統括する。 <input type="checkbox"/> 環境目標達成状況の評価及び、その対策を指示する。 <input type="checkbox"/> 環境法令遵守に関し、責任を持つ。
EA21 事務局	<input type="checkbox"/> 事務局として環境管理責任者を補佐し、EA21 に係る事項の実務を中心的に行う。
専門 P J チーム	<input type="checkbox"/> 決定事項に基づき、専門 P J チームを統括する。
生産管理部門	<input type="checkbox"/> 決定事項に基づき、生産管理部門を統括する。
作業管理部門	<input type="checkbox"/> 決定事項に基づき、作業管理部門を統括する。
維持管理部門	<input type="checkbox"/> 決定事項に基づき、維持管理部門を統括する。 <input type="checkbox"/> 放流水が環境基準を超えないよう、水質検査及び水質改善対策を実行する。
石川処分場部門	<input type="checkbox"/> 決定事項に基づき、石川処分場部門を統括する。
一般従業員	<input type="checkbox"/> EA21 に関わる保全活動への積極的な参加

#### 4. 環境負荷の自己チェック

平成21年12月、エコアクション21の要求事項である環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価を実施し、平成20年度、平成21年度に排出された二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量を把握・評価しました。

総エネルギー投入量や温室効果ガス排出量が大きな負荷となっています。また、廃棄物の中間処理施設の動力や水処理施設の動力の電力使用量も大きな負荷となっています。

事業所から発生する廃棄物の排出量は、今年度からの把握となっています。

環境への負荷の状況(とりまとめ表)

			平成20年度 (基準年度)	平成21年度	平成21年12月 ～22年3月
		単位	実績	実績	実績
①総エネルギー投入量	購入電力	MJ	18,303,362	19,382,568	6,564,159
	化石燃料	MJ	33,869,022	34,860,083	10,620,344
	新エネルギー	MJ	77,250	58,543	13,694
		MJ	0	0	0
②総物質投入量	資源投入量	t	0	0	0
	循環資源投入量	t	0	0	0
③水資源投入量	上水	m <sup>3</sup>	25,129	30,459	7,602
	工業用水	m <sup>3</sup>	0	0	0
	地下水	m <sup>3</sup>	0	0	0
【④温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	Kg-CO <sub>2</sub>	3,338,559	3,466,030	1,093,269
		Kg-CO <sub>2</sub>			
		Kg-CO <sub>2</sub>			
⑤化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0	0	0
	公共用水域への排出	t	0	0	0
	土壌への排出	t	0	0	0
⑥受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	0	0	0
	中間処理量	t	57,805	36,036	13,030
	うち再資源化等量	t	13,377	15,516	5,914
	最終処分量	t	44,137	59,232	20,702
	中間処理後の産廃処分量	t	57,329	33,750	12,165
	うち再資源化等量	t	13,622	13,471	5,110
【⑦廃棄物等総排出量】	再使用	t	0	0	0
	再生利用	t	0	0	0
	熱回収	t	0	0	0
	単純焼却	t	0	0	0
	その他(水処理汚泥)	t	385	423	180
⑧廃棄物最終処分量	最終処分量	t	43,707	20,279	7,055
【⑨総排水量】	公共用水域	m <sup>3</sup>	25,129	30,459	7,602
	下水道	m <sup>3</sup>	0	0	0
	BOD	g	27000	33000	8000

○【 】で囲んだ項目が必須項目です。なお、総排水量の把握が困難な場合には「水資源投入量」が把握必須項目となります。

○ 各指標の値については、次項以降の集計結果を記入してください。

## 5. 環境目標とその実績

### 1) 主な活動計画の内容

環境方針及び環境目標を達成するため、以下の環境活動に基づき活動する。環境活動計画は、部門毎についてそれぞれ定めます。環境活動計画の実施状況の確認と評価は3ヶ月に1回実施。

取組項目	実施項目	部門・責任者
二酸化炭素排出量の削減	軽油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無用なアイドリングをやめる</li> <li>・始業時点検および定期的な車両整備を徹底</li> <li>・経済的な速度で運転する。(エコドライブ)</li> <li>・効率的な運転方法や動線を検討する</li> </ul> 作業管理 ：森本 寅善
	灯油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配管継手部の蒸気漏れ予防対策</li> <li>・ストレーナーの定期的な清掃</li> <li>・ボイラー3台運転による運転効率アップ</li> <li>・配管保護による熱逃げ防止の検討</li> </ul> 維持管理 ：吉岡 孝幸
	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不要照明の消灯、間引き</li> <li>・空調機フィルターの掃除を定期的に行う</li> <li>・エアコンの温度管理</li> <li>・待機電力は、極力減らす</li> <li>・スイッチヘシールを張る(啓蒙)</li> <li>・外灯の適切な点灯</li> <li>・動力の過負荷運転(作業管理、維持管理のみ)</li> </ul> 各部門管理者 ：森本 寅善 ：馬場 真樹 ：吉岡 孝幸 ：中田 晃
廃棄物排出量の削減	廃棄抑制 消耗品等の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源ごみの分別を徹底</li> <li>・電子データ化</li> <li>・不要なものは、購入しない</li> <li>・再使用、再利用を進める</li> <li>・使用方法や廃棄時の状態を確認する</li> </ul> 各部門管理者 ：森本 寅善 ：馬場 真樹 ：吉岡 孝幸 ：中田 晃
	アップ クル サイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RPFの生産量の増産の検討</li> <li>・トラブル等による不良成形品を減らす</li> </ul> 作業管理 ：森本 寅善
総排水量の削減	水道使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水表示(啓蒙)</li> <li>・こまめな節水</li> <li>・散水など雨水を有効利用</li> </ul> 各部門管理者 ：森本 寅善 ：馬場 真樹 ：吉岡 孝幸 ：中田 晃
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再利用水の利用率アップ</li> <li>・停止時の使用の有無確認</li> </ul> 維持管理 ：吉岡 孝幸

2) 目標

平成 20 年度を基準とし、今後 3 年間で各項目を達成することを当面の目標とする。

項 目		平成 20 年度 基準年度	中期の目標		
		実績	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
二酸化炭素排出量削減	前年度の 1ヶ月当り ( kg - CO2 / t )		3.0%削減	5.0%削減	10.0%削減
		278,213	269,867	264,302	250,392
総排水量削減	前年度の 1ヶ月当り ( m3 / 月 )		5.0%削減	10.0%削減	15.0%削減
		2,094	1,989	1,885	1,780
廃棄物排出量の削減 ( RPF 固形燃料増産の よる廃棄物の抑制)	前年度の 1ヶ月当り ( t / 月 )		26.1%	37.6%	43.3%
		87	110	120	125
環境整備の推進	構内清掃 実施回数/月	未設定	1回/月以上	1回/月以上	1回/月以上

### 3) 活動結果と評価

対象期間（平成 21 年 12 月～平成 22 年 3 月）までの目標とその実績について計画と評価

		平成 20 年度 (基準年度)	平成 21 年度	平成 21 年 12 月～ 平成 22 年 3 月	評価
		実績	目標	実績	
二酸化炭素排出量 削減	前年度の使用量		3.0%	2.1%	未達成
	1ヶ月当り ( kg - CO2 / t )	278,213	269,867	272,438	
総排水量削減	前年度の使用量		5.0%	9.0%	達成
	1ヶ月当り ( m3 / 月 )	2,094	1,989	1,901	
廃棄物排出量の削 減 ( RPF 固形燃料 増産)	前年度の生産量		26.1%	39.0%	達成
	1ヶ月当り ( t / 月)	87	110	121	
環境整備の推進	構内清掃 実施回数/月	0.3 回	1 回以上	1 回	達成

#### ■取り組み内容

##### 1) 二酸化炭素排出量の削減

軽油使用量：重機の点検の徹底と経済的運転、廃棄物保管ヤードの見直しによる運搬ルートの変更により、11.0%削減しました。

灯油使用量：水処理設備の長期メンテナンスにより、稼働時間が短くなり使用量が2.8%減りました。

電気使用量：全社的に不要照明の消灯・間引き等の活動を行い、節電。また、待機電力やこまめに消灯するなど意識が高まった。作業管理では、設備点検の強化および低負荷運転による処理を行いました。10.3%超過した。原因は、RPF 固形燃料の増産による稼働時間延長による増加。維持管理は、設備の電気使用箇所の見直しを行いました。1.4%削減

##### 2) 総排水量（水道使用量）の削減

水処理施設の使用量削減：再利用水を積極的に使用しました。9.5%削減  
事務所棟の使用量削減：節水表示等の啓蒙活動を行いました。12.1%超過しました。

##### 3) 廃棄物排出量の削減

RPF 固形燃料の増産：メンテナンス強化及び作業方法の見直し、稼働時間延長により39.0%と目標を大幅に上回る結果となりました。

##### 4) 環境整備の推進

構内整備の実施：構内の除草、側溝清掃等を毎月実施しました。

## 6. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規制の遵守状況を評価した結果、遵守状況は良好であり、法令違反はありませんでした。同等に訴訟もありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去5年間ありませんでした。

## 7. その他の活動状況

### 1) 総合消防訓練の実施（平成21年12月実施）

全従業員による消防避難訓練を実施しました。

同時に、通報訓練、火災時の対処方法、消火器の使用方法を訓練しました。



### 2) 治田 I C 周辺の清掃美化活動（平日 雨天時以外毎日実施）

従業員による治田 I C 周辺の清掃美化活動を実施しました。

